

令和5年度 海外帰国生徒の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 市5

松戸市立松戸高等学校 全日制の課程 普通科・国際人文科

1 選抜資料

(1) 学力検査	3教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名5分
(4) 海外在住状況説明書	実施要項(様式6)により、海外在住期間及びその前後の教育歴等を説明したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔300点満点〕

評価項目	評価基準
3教科の得点合計	3教科（各教科100点満点）の合計300点満点で評価する。

(2) 調査書〔170点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	〇の数が1個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で、役員、選抜選手、大会実績等の記述があった場合については加点する。 「特記事項」に英語検定、漢字検定、数学検定各3級以上の記述があった場合は加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判断する際の参考とする。

(3) 面接〔10点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～d d）で得点化する。評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 質問に対する応答・意欲	質問内容を的確に理解し、適切に回答することができる。 回答の内容が、具体的でわかりやすく、高校生活に対する意欲が感じ取れる。
イ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 言動に落ち着きがあり、基本的な面接作法が身に付いている。

(4) 海外在住状況説明書

評価項目	評価基準
記載内容	志願資格があることを確認する。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、海外在住状況説明書等の書類の審査並びに学力検査の成績及び面接の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。